



最先端 眼科治療

網膜硝子体手術 / 緑内障手術

当院では 25 ゲージ(0.5 ミリ)の細い器具を使用する「[無縫合小切開硝子体手術](#)」を行っています。最近 7500 回転/分 硝子体カッターを導入し、安全性が高まりました。

[難治性緑内障](#)に対し、眼圧低下を目的に房水を眼内から排出するために使用する最新のインプラント「[エクスプレス™ 緑内障フィルトレーションデバイス](#)」と「[アーメド緑内障バルブ](#)」の 2 種類を患者さんの眼に合わせて選択しています。薬物治療やレーザー等の治療法で十分な眼圧効果が得られない患者さんに新たな治療の選択肢をもたらします。

また、房水の流出機能を回復する新しい緑内障手術器具(電気メスと I/A チップが合体した)「[トラベクトーム](#)」を導入しております。大幅な眼圧降下は望みにくいですが、合併症が少なく、より安全な手術です。点眼薬の本数を低減する効果があります。

レーザーを使った [涙嚢鼻腔吻合術\(DCR\)鼻内法](#)

流涙でお困りの患者さんにチューブ挿入術を。挿入不可能な場合は、[レーザー涙嚢鼻腔吻合術\(DCR\)鼻内法](#)を行っています。[鼻涙管内視鏡](#)と[鼻腔内視鏡](#)で観察しながらレーザーを用いて 閉塞した鼻涙管を鼻腔内に開口させ、つまった涙の流れを良くします。

羊膜移植

羊膜は血管がなく透明であるため、角膜への移植材料として適しています。炎症や線維化を抑える働きがあることから、術後の角膜の混濁や癒着を防止できます。さらに傷の修復が早まることも確認されています。眼球と瞼の癒着を伴うような難治性眼疾患の治療に有効です。保険が適用されます。

フェムトセカンドレーザー 白内障手術

当院では世界最先端の「[フェムトセカンドレーザー白内障手術](#)」を白内障手術に導入して 3 年が過ぎ、すでに 200 眼あまりに施行しました。水晶体囊の前面を真円かつ中心に切除することが可能で眼内レンズを水晶体囊の中心に固定でき、レンズの偏位や傾きを最小

限にすることができます。水晶体の分割も可能で超音波乳化のエネルギーを大幅に低減し限りなくゼロに近づけ、眼の負担を少なくしています。より質の高い良好な視機能の獲得が可能です。日本では厚生労働省にまだ承認されていませんので「自費診療」となります。

プレミアムレンズ【老視矯正眼内レンズ】

多焦点眼内レンズ・乱視矯正多焦点眼内レンズ

白内障手術に使用する眼内レンズには、「単焦点眼内レンズ」と「多焦点眼内レンズ」があります。単焦点眼内レンズはある一定の距離にピントがあう眼内レンズです。

多焦点眼内レンズには、遠くにも近くにもピントが合う2重焦点眼内レンズと中間距離(50cm~1m)にもピントが合う3重焦点眼内レンズがあります。2重焦点眼内レンズは「先進医療」として厚生労働省に承認されていますが、3重焦点眼内レンズは先進医療として承認されていませんので、術前術後の診察・検査・手術代(レンズ代含む)に関わる治療代は全て「自費診療」となります。

アドオン追加挿入型「多焦点眼内レンズ・乱視矯正多焦点眼内レンズ」

Add-On 眼内レンズは視機能向上のために開発された「二枚重ね挿入専用」の眼内レンズです。すでに白内障手術が済んでおり、挿入されている単焦点眼内レンズの上に、更にもう1枚 多焦点(2重焦点)眼内レンズ Add-On を追加挿入することで「遠くにも近くにも」ピントが合うようになります。先進医療として厚生労働省にまだ承認されていませんので Add-On に関わる治療代は全て「自費診療」となります。

その他

詳しくはスタッフまでお問い合わせください

オルソケラトロジー

ナイトレンズ(コンタクトレンズ)を就寝中に装着し角膜形状を矯正します。朝レンズを外し、昼間は裸眼視力を維持します。効果は非常に良好です。子供さんの近視進行予防も期待できるとされています。

クロスリンク(CXL)

「円錐角膜」・「角膜拡張症」の進行を抑えることを目的とし、角膜の実質の強度を高めコンタクトレンズの装用も可能にするレーザー治療です。

毎月〈無料説明会〉開催中

LASIK・屈折矯正(オルソケラトロジー・有水晶体眼内レンズ)

ご興味のある方は、ご家族・ご友人をお誘いのうえご参加ください。

6月4日(土)・7月2日(土)

8月6日(土)・9月3日(土)

《午前10:30~(およそ1時間)

西眼科病院1F 飲食コーナーにて》

特殊外来・専門外来のご案内

ドライアイ外来・ブドウ膜外来・屈折矯正外来(多焦点 IOL・LASIK・フェイク IOL・オルソケラトロジー)・角膜外来(角膜疾患一般・PKP・DSAEK・羊膜移植・クロスリンク)・涙道外来(チュービング・DCR)・網膜硝子体外来(メディカルレチナ・サージカルレチナ)